

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 1912 号

Prevalence of sleep-disordered breathing among women working in the aged care services in Japan

(日本において介護・医療関連業務に従事する女性の睡眠呼吸障害有病率)

鈴木 有佳 (すずき ゆか)

博士 (医学)

#### 論文審査結果の要旨

本研究は、介護・医療関連業務に従事する日本人女性の睡眠呼吸障害 (SDB) の有病率を明らかにすることを目的とした。対象は、介護・医療関連業務に従事する 18-60 歳の女性のうち、研究参加に同意した 712 名であった。参加者の平均年齢 (SD) は 38.1 (11.5) 歳、平均 body mass index (BMI) (SD) は 23.0 (4.2)、平均睡眠時間 (SD) は 6.1 (1.1) 時間であった。簡易睡眠呼吸検査により測定された SDB 有病率は、中等度 ( $10 \leq \text{respiratory disturbance index (RDI)} < 20$ ) が 18.7% (133 名)、重度 ( $20 \leq \text{RDI}$ ) が 4.1% (29 名) であった。以上より、日本で介護・医療関連業務に従事する女性は多くの先行研究に比べて年齢が低く、また、欧米女性に比較すると BMI も低値であるにもかかわらず、中等度・重度 SDB 有病率は、22.8% と高いことが明らかになった。

本論文の結果は、アジアの勤労女性の SDB 有病率を明らかにした初めての研究であり、睡眠医学領域の貴重なエビデンスである。また、日本社会の高齢化に伴い今後も需要の増加が見込まれる介護業界を担う女性の健康を守る施策に資するものであり、職業保健の分野でも大きな意義があると考えられる。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。